

# 4-3

演題	生きがいで死にたい気持ちを克服するまで
副題	～植物の力で死を願う利用者が前を向くまで～


法人名	社会福祉法人 ユーアイ二十一
施設名	太陽の家

発表者名 (職種)	村山 友基 介護職員
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	横須賀市西浦賀 6-1-1
TEL	046-846-5133
FAX	046-846-5233
メールアドレス	jinzai_ikusei@ui21.or.jp
URL	https://www.ui21.or.jp

今回の発表施設 またはサービスの 概要	私達【太陽の家】は、本入居 111 床 ショートステイ 21 床、デイサービス定員 30 名の施設です。横須賀市浦賀の山の上であり、早朝に見える朝日、天気の良い日は浦賀の海、千葉がととも綺麗に見渡せる場所に位置しています。
---------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 研究の目的、PR ポイント

A 様は入居される前から、鬱病を患っており、年金事務所や警察に行かれ、金銭に関する不安を伝える事や、ご自宅にて不安から 2 回、自傷行為をすることも見られていました。施設に入所されてからも変わらず、ふとした時に不安が募ってしまう様子が見られていました。入居されてから、隣席にいたご利用者様 2 名と良くお話をされ、仲良くなり「大丈夫よ」「そんなこと言わないで」と励ましや、心配の言葉を掛けてもらっている姿も見られました。励ましや心配の言葉を掛けられても尚、付きまとう不安に対して、その不安を少しでも軽減、または解消するためにはどうすればよいのか。多職種で連携してカンファレンスを行い、浮かび上がった課題の解決に向かって A 様と一緒に一歩ずつ進んでいきました。

## 取り組んだ課題

本人が生活していく中で、なぜ、不安が募ってしまうのかを、アセスメントした結果、テレビ鑑賞や隣席の仲の良いご利用者様 2 名と談笑をする毎日を送っていることが、不安の解消には至らず、自分からも行動的ではない事が原因と考えました。その為、日々の生活を送る中で、何か A 様が興味を持ってを 1 つずつ試しながら探していき、興味を持ったことについて取り組んでもらうことで、【不安について考えなくても済むようにする事】を課題とし、取り組んでいきました。

## 具体的な取り組み

A 様の感じている不安を軽減、もしくは解消するために、楽しみを持って過ごせる時間や、集中して取り組めることを見つける為、様々なレクや、興味を持てることを 1 つ 1 つ探して行きました。風船バレーをやってみたり、フロアー内を一緒に歩いて回ってみないか誘い、一緒に散歩をしてみたり、カラオケマシーンを借りて来て、一緒に歌を唄ってみないか誘い、歌を唄ってもらったりと、1 つ 1 つ出来る事、思いついたことを試し、A 様の反応を記録し、多職種で把握し、評価をしながら取り組みました。

## 活動の成果と評価

成果としては、ユニットの中庭にある植物に興味を持たれた様子があり植物と関わることに的を絞り A 様に植物を見に誘ったりお世話を一緒にしないか誘うと、とても楽しんで、花や植物を眺められたり水やり等のお世話をされていました。A 様自身から中庭の植物に意識を向けられるようになり、日に日に不安の訴えが聞かれなくなっていきました。また隣席ご利用者様に対してもご自分から進んでお世話をされる様になり、どんどん笑顔を浮かべることが増えていきました。

## 今後の課題

現在、A 様より、不安の訴えは殆ど聞かれなくなりました。しかし、今後、いつ、どのような時に不安の訴えが出てくるか分かりません。季節の変わり目や、ご利用者様の入れ替わり等、A 様の気持ちの変化しやすい場面を想定し、対策を立てられるように検討を行っています。また、鬱病に限らず、精神に関わる病気について勉強会を開こうと考えています。

## 参考資料など

- 論文「花の観賞は心身のストレスを緩和する」  
(農研機構発表)
- 論文「人と健康と緑の知覚」  
(桐蔭横浜大学工学部発表)